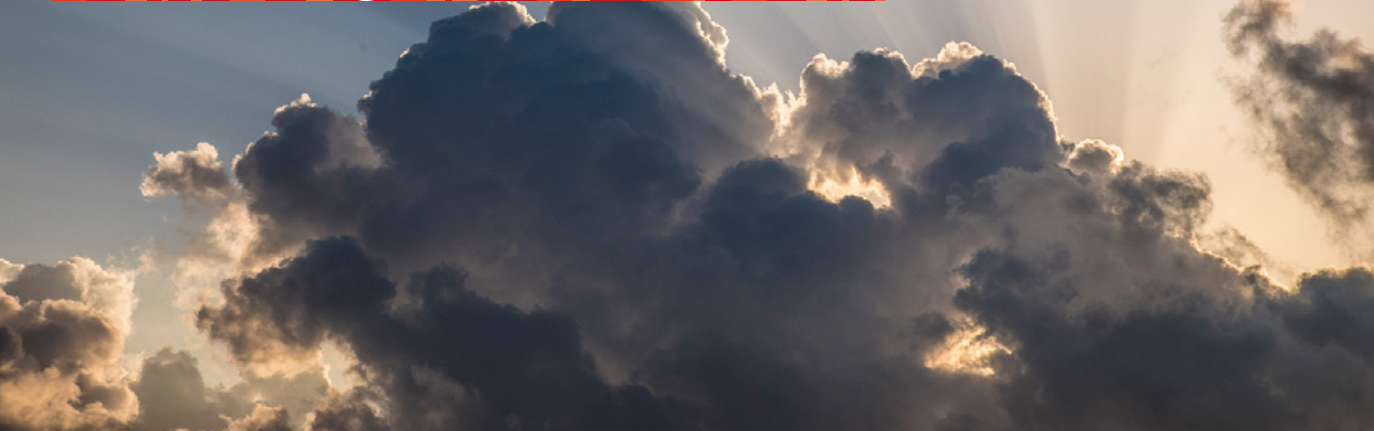


SORA

web magazine 2019.jul. vol.112



Maldives

Photo & Text : Kyu Furumi

モルディブ再発見の旅
アイランドサファリ・ロイヤル号

MAP
CLICK!



tsumi-shima tsumishima.com
ダイバーの夢をつみあげていく島



(株)ワールドツアープランナーズ
www.wtp.co.jp

© 2019
World Tour Planners Co., Ltd.
All Rights Reserved.



驚き
Surprise

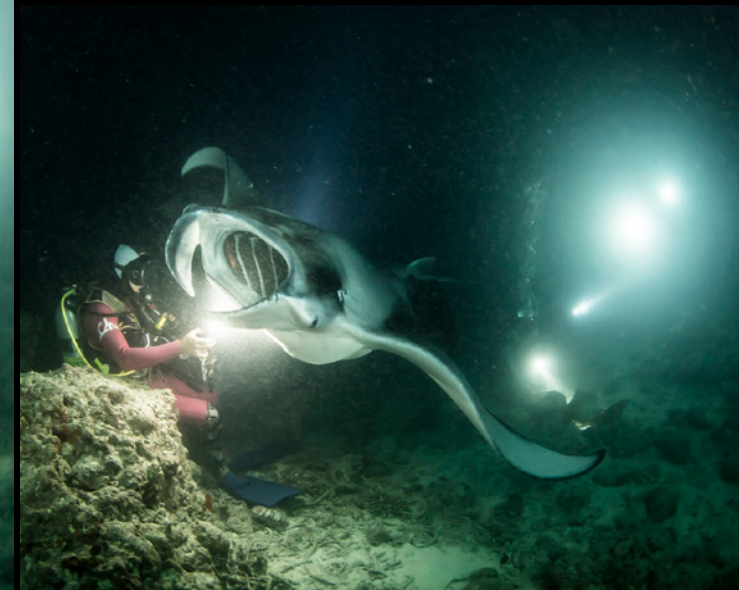
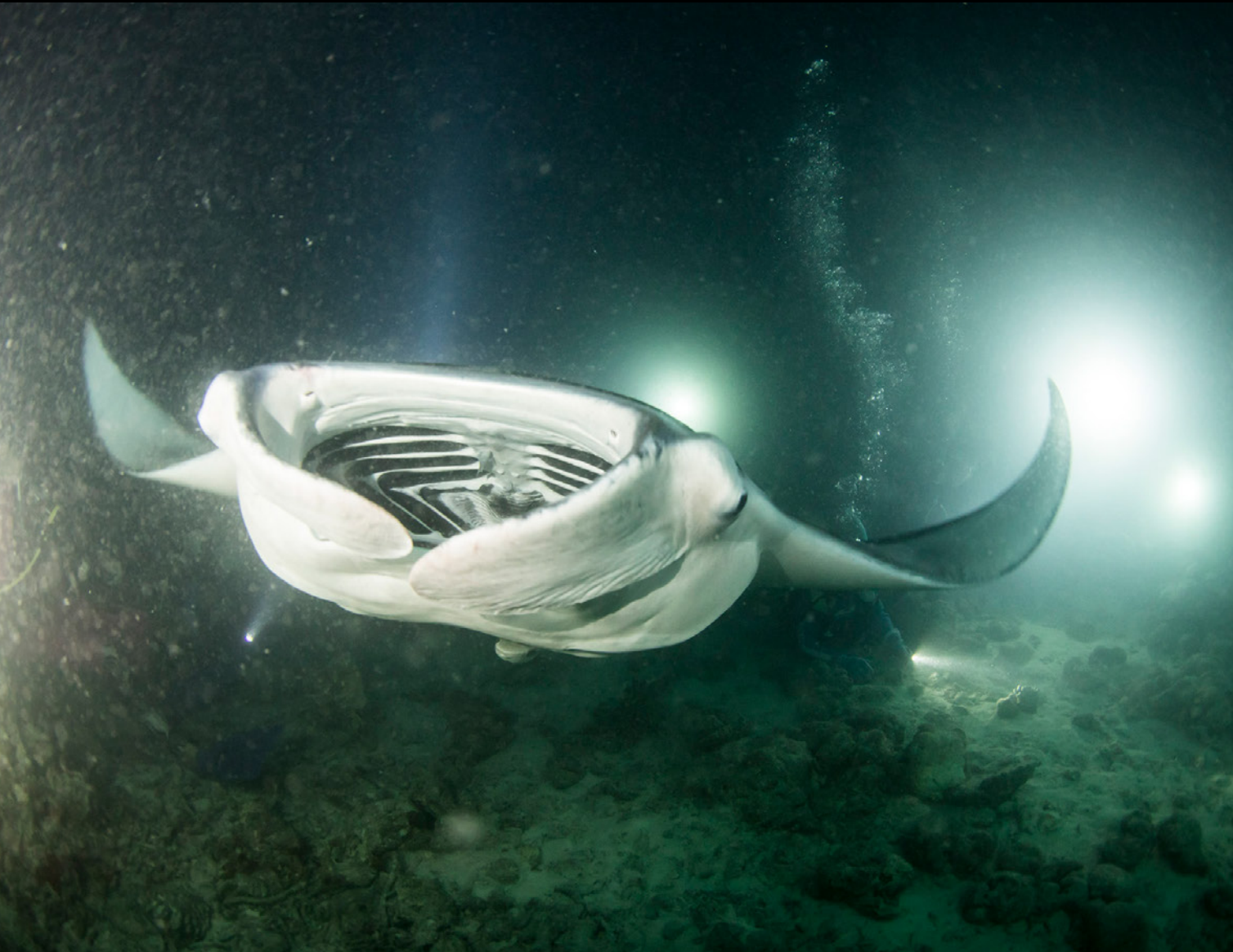
Maldives
アイランドサファリ・ロイヤル号

夜の怪鳥伝説



夜の怪鳥伝説

個人的な話になるが夜の海が大好きだ。夜の海は手に持つ小さなライトを頼りに、小さな生き物をコツコツと探していくのが定番。しかしながらここモルディブでは、その常識は当てはまらない。日が暮れると同時にクルーズ後方に集魚灯を灯し、プランクトンを集め、それを捕食にやってくるマンタを待つ。日中の優雅な舞とはまた違う。アグレッシブに羽ばたくマンタの姿を目に焼きつけろ。



O 海
cean

Maldives
アイランドサファリ・ロイヤル号



王者の通り道

「ジンベエザメといえばモルディブ」と称されるほど、ジンベエザメとの遭遇率が高いモルディブ。アリ環礁の南端付近は、ジンベエザメを探すクルーズや、リゾートからのボートで賑わいをみせる。ある船はスノーケリングで、ある船は器材を背負い水中での遭遇にチャレンジする。どちらがいいのかは誰にも分からない。ジンベエに出会えたとしても、その個体は泳ぎが速いかもしれないし、もしかしたら長い時間一緒に泳いでいるかもしれない。何度トライしても、目にその姿が飛び込んできた時の興奮は色褪せることはない。

ドラキュラシュリンプゴビーの色変化



ハナダイに擬態するハナダイギンギ



こちらもモルディブでは初見のシマウミスズメ



サイケデリックな模様をしたイソモンガラの子魚

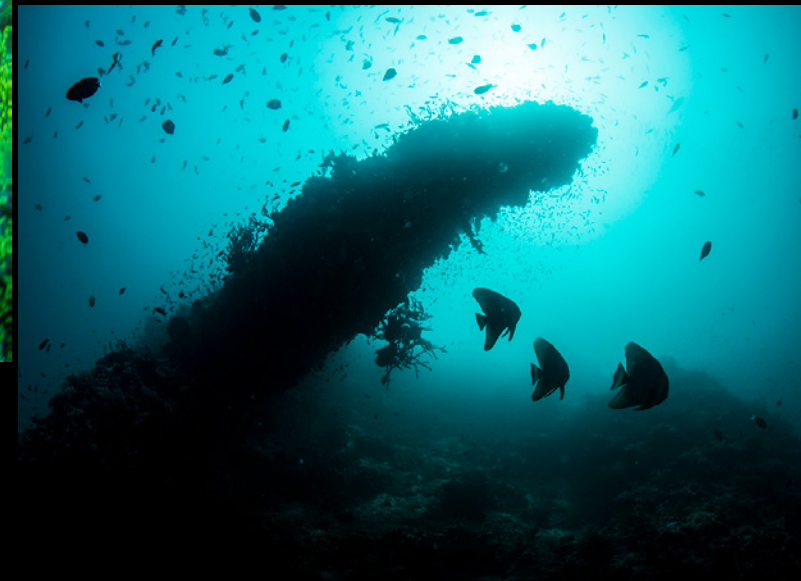
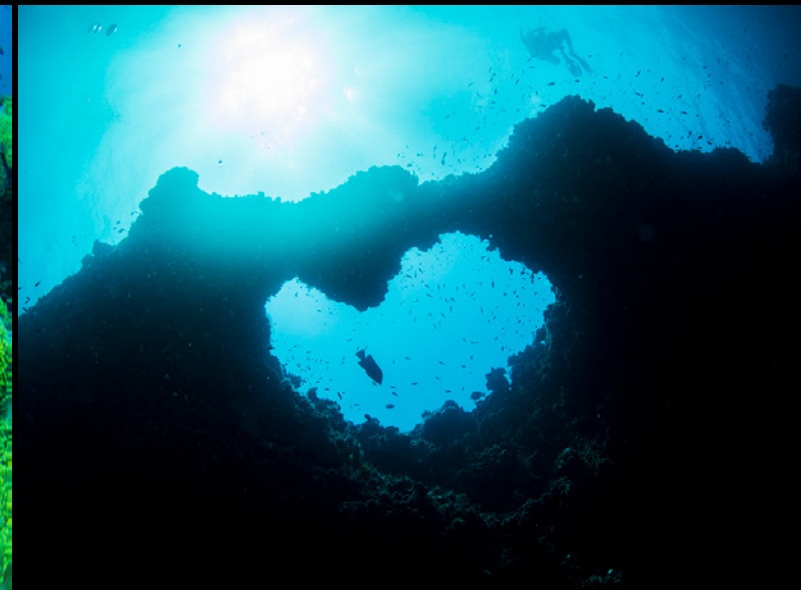


モルディブでは初めて出会ったヒレナガネジリンボウ



彩の異人たち

モルディブの海はインド洋の固有種が多く暮らす。そのレギュラーメンバーももちろん面白いのだが、例えばドラキュラシュリンプゴビーのように、普段の黒い線が赤く変化している個体などもある。じっくり探せば探すほど、少しの違いに気がつくようになり、生物相の奥深さが見えてくるだろう。



秘密の場所

モルディブに通いだして随分と長い年月が経つ。ジンベエザメやマンタはもちろんのこと、定番のダイビングポイントもカレントの入り方によって大きくその表情を変える。何度潜っても驚きが見つかるのがモルディブの凄さ、海の底力なのだろう。今回の取材で初めて潜った「オリマス・ティラ」というポイントがあった。ガイドの的場さんは「イソギンチャクの群生が黄金色で、もの凄くキレイなんですよ！ 僕らもこれまであまり行っていないポイントだったのですが、ぜひじっくり撮影してみてください」と勧めてくれた。そして本当に黄金色のイソギンチャク畑はそこにあった。これまで潜ってきた場所、見てきたもの。その時の気持ちに添いながら眺めてみると、自分だけの秘密の場所が見つかるのかもしれない。

A 行動 Action

Maldives アイランドサファリ・ロイヤル号

アイランドサファリ・ロイヤルで過ごす1日は濃い。起床して間もないダイビングから怒涛の魚ラッシュを味わい、マンタと優雅な時間を過ごし、ジンベエザメに驚く。そして毎度の食事も絶品そのもの。野菜もふんだんに使われた料理は、これまで乗船してきたクルーズの中でもビカイチのトップクラスだろう。特に昼食時に出されるカレーは種類豊富でどれも最高に美味しい。ローカル島への上陸、星空の下でのロマンティックディナーやモルディビアンナイトなど、ダイビング以外でも僕らを満足させてくれるイベントが盛りだくさん。カップル、友達同士はもちろん、一人で乗船されるゲストも多いので、気軽に航海中に絆を深めることができるだろう。

